



とくしま 県議会だより

第108号【年4回発行】

令和3年1月31日

編集・発行／徳島県議会

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

TEL.088-621-3010

FAX.088-655-2530

ホームページアドレス

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/>



元気を届けたい！力強い書道パフォーマンスを披露

県民に開かれた議会活動や芸術・文化の振興のため、また、四国大学との包括連携協定に基づく事業の一環として、令和2年12月17日に四国大学文学部書道文化学科の学生による、書道パフォーマンスを実施しました。

学生の皆さんが自分たちで選んだ「今年の漢字」に加え、新型コロナウイルスに打ち勝つため、「愛」を大切に、明るい未来を信じて一緒に頑張ろうという気持ちを込めた作品を、音楽に合わせて、全身を使った力強い筆遣いで書き上げました。

今年の漢字は、猛威をふるった「新型コロナウイルス」だけではなく、「新しい生活様式」や「新内閣誕生」など、いろいろな「新しい」があったことから「新」という字と、新型コロナウイルスとの「共存」、また、県と徳島市が「共に」協力して新ホールを整備することが決まったことなどから、「共」という漢字が選ばれました。

新型コロナウイルス感染症対策として、密を避けるため、観覧席の間隔を空けるとともに、庁内テレビで実況放送するなど万全の体制で実施しました。



大学との包括連携協定とは

県民を代表し県政の意思決定を行う県議会と、学術の中心として知的資源が集積する大学が相互に協力し、様々な地域課題に迅速かつ的確に対応するとともに、魅力ある地域づくりや地域における高度な識見を有する人材の育成に資することを目的に、徳島文理大学及び四国大学と包括連携協定を結び、各種事業を行っています。

会期 令和2年11月30日～12月18日

11月定例会の概要

開会日には、11月補正予算などが提案され、高病原性鳥インフルエンザ防疫体制の強化、新型コロナウイルス感染症対策、新ホール整備などの重要課題について、所信が述べられました。

さらに、閉会日には、徳島ヴォルティスのJ1復帰や鳥インフルエンザの拡大等を受けた補正予算などが追加提案されました。

代表・一般質問では、新ホールの整備方針、新型コロナ感染拡大防止に向けた県民への周知啓発や医療・検査体制の充実、デジタル社会実現への取り組み、消費者政策の推進、鳥インフルエンザの防疫体制や発生への備え、農林水産業におけるグローバル化への対応、新たな海上交通の取り組み、河川の治水対策、自然エネルギー熱利用の普及啓発等による地球温暖化防止対策、GIGAスクール構想の実現やキャリア教育推進等の教育施策などについて論議しました。

今定例会では、「森林整備等林野関係事業の推進に関する意見書」等の意見書2件、条例改正2件を議員提出し、可決しました。また、知事提出議案37件を原案どおり可決・認定し、請願1件を採択しました。

主な審議の結果

●可決・認定された議案

○令和2年度補正予算

・一般会計(3件)／補正予算額は73億6,260万9千円の増額で、補正後の予算は、5,715億391万1千円

○条例の制定(2件)

・徳島県犯罪被害者等支援条例 など

○条例の改正(15件)

・徳島県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について(議員提出)

・徳島県議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部改正について(議員提出)

・職員の給与に関する条例及び一般職の任期付研究員の採用等に関する条例の一部改正 など

○契約案件(1件)

○指定管理者の指定(10件)

○決算の認定(2件)

○剰余金の処分及び決算の認定(4件)

○その他(2件)

●可決された意見書(2件)

・国の教育政策における財政的支援を求める意見書

・森林整備等林野関係事業の推進に関する意見書

●採択された請願(1件)

・国の教育政策における財政的支援について

●選挙管理委員等の選挙

任期満了に伴う選挙管理委員及び同補充員の選挙を行いました。

提出議案や各議員の表決態度については県議会ホームページに掲載しています。

徳島県議会 定例会の概要

検索



代表・一般質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

知事の答弁 関係部局の答弁

代表質問

新ホールの整備に係る方針や交通アクセス対策を問う

岩丸正史 (徳島県議会自由民主党)



問 新ホール整備に係る基本的考え方、整備費や開館時期の見込みは。また、子供や高齢者等誰もが利用しやすいアクセス対策を講ずるべき。

答 文化芸術の力を結集し、未来を創造するため、本体整備費は180億円程度、2025年度開館を目標とする。公共交通アクセス充実のため、JR牟岐線への新駅設置を目指す。 **問** 本格的な冬の到来を前に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、県民への感染防止対策の周知やクラスター発生時の検査体制の確保が重要と考

関係部局の答弁

環境づくりが重要。読書を通して、障がい者の社会参加と活躍につなげるため、読書パリアフリー推進計画の策定を。

答 障がい者団体等からなる推進協議会を令和3年1月をめどに設立。同年7月に、読書サポート人材の育成等、本県ならではの計画策定を目指す。

経済のグローバル化に対する農林水産業の競争力強化を重清佳之

重清佳之 (徳島県議会自由民主党)



問 地域の農林水産業を守り、経済のグローバル化の波に打ち勝つための仕組みが重要。引き続き、十分な財源の確保と切れ目ない支援が必要と考

答 農林水産業未来創造基金を活用し、生産力や競争力の強化を重点的に支援してきた。今後も、必要となる基金を切れ目なく積み増したい。 **問** 漁業の競争力強化のためには、漁獲量の確保が重要であり、水産資源の持続的な利用には、好循環を作り出すことが不可欠。今後、水産資源の回復にどう取り組むのか。

答 県有施設でのアワビの生産倍増やトコブシの新規生産、藻場の回復、密漁対策など、水産資源を作り・育み・守る取り組みを一層強化する。

問 道路整備を着実に進めるには、財源の確保が必要。命の道である阿南安芸自動車道海部野根道路の早期整備は、地域の総意と考えるが、今後どう進めていくのか。

答 来年早々には、用地幅杭を設置し、早期の用地取得につなげる。命の道を整備する予算の拡大に向け、引き続きタイムリーな政策提言を展開する。

ウイズコロナ時代に対応した医療提供体制等の構築を高井美穂

高井美穂 (新風とくしま)



問 ウイズコロナ時代に対応した医療提供体制の構築と新型コロナウイルススワクチ

答 新型コロナウイルスを踏まえた医療提供体制の検討を国に求める。また、迅速かつ適切なワクチン接種体制の整備に向け、着実に準備していく。 **問** 産学官との連携で開始した研究開発事業の今年度の取り組みや研究成果をどう捉え、技術の実用化と今後の展開に向け、どう取り組むのか。

究成果を活用し、県内企業が空気清浄機等の実用化に取り組み。また、テラヘルツ波等による6G通信技術の開発を進め、世界へ強力で発信する。

問 三好と牟岐の両警察署管内における24時間体制の交番設置についてのビジョンは。また、駐在所の統合による交番化で、地域行事への関わりが減らないよう配慮すべき。

答 早期実現に向け、関係自治体や地元住民への説明を進めている。また、交番に勤務する警察官の地域に密着した活動について引き続き配慮する。

全庁を挙げスピード感を持った吉野川の流域治水を吉田益子

吉田益子 (新しい県政を創る会)



問 台風や大雨被害が激甚化している今、吉野川の流域全体で減災する流域治水に、スピード感を持ち、全庁を挙げて取り組むべき。

答 ダムの事前放流、雨水貯留施設の整備、山林の保水力強化など、水害の軽減に向け、県を挙げた取り組みを明示する流域治水プロジェクトの策定作業を加速させる。 **問** 産後の母子健診は、母親の様々な不安を受け止め、解消する上で大変重要。産後の母親が孤立することなく、安心して子育てができるよう、メンタル面の支援にどう取り組むのか。

11月定例会委員会の概要

常任委員会
●総務委員会
公安委員会関係では、阿南・阿波両運転免許センターの運用状況、自転車の安全利用について、**経営戦略部・監察局**関係では、新型コロナウイルスに係る県の組織体制の整備について、**政策創造部**関係では、デジタルトランスフォーメーションの推進について、**未来創生文化部**関係では、新ホールの整備、青少年センターの移転についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●文教厚生委員会
教育委員会関係では、教員の変形労働時間制の導入に当たっての見解や今後の対応、働き方改革の推進、不登校児童生徒への支援、しらさぎ中学校(県立夜間中学)について、**保健福祉部・病院局**関係では、新型コロナウイルス感染症対策、鳴門病院に対する支援、地域包括ケアシステムの成果と今後の取り組み、フレイル対策についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●経済委員会
労働委員会関係では、個別的労使紛争の相談状況について、**農林水産部**関係では、高病原性鳥インフルエンザへの対応、中山間地域等における農業対策、食料・農林水産業・農山漁村基本計画について、**商工労働観光部**関係では、観光戦略における効果的な情報発信、コロナ禍の労働者への支援、徳島ヴォルティスのJ1復帰についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●県土整備委員会
企業局関係では、駐車場事業の経営分析について、**危機管理環境部**関係では、感染症に強いニューノーマルとくしまの実現、住民への避難所情報の発信、犯罪被害者等支援条例について、**県土整備部**関係では、新ホール整備に伴う新駅設置の効果等、DMVの本格営業運行に向けた進捗状況、awaもくよんプロジェクトについてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●地方創生対策特別委員会
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る国の第3次補正予算の内容、WITH・コロナ「新生活様式」導入応援補助成金の申請状況等について質疑がありました。そのほか、ふるさと回帰「絆」強化事業の実施状況、ふるさと納税に関し、返礼品の充実拡大の方針、ANAのふるさと納税サイトを採用した狙いなどについて、質疑や提言がありました。

●防災・感染症対策特別委員会
新型コロナウイルス感染症に関し、年末年始における相談・受診への対応、感染防止に係る周知・啓発、大阪府への看護師等の派遣状況、ワクチン接種に向けた現状等について、質疑がありました。そのほか、大規模自然災害に備えた治山事業や地籍調査の促進、地震・津波防災に係る啓発、太陽光発電と蓄電池を組み合わせた避難所の電源確保などについて質疑や提言がありました。

●消費者・環境対策特別委員会
吉野川の自然環境や生態系の保全、とくしま浄化槽連絡協議会の現在の状況、環境教育の実施状況、コウノトリの繁殖支援、徳島県気候変動対策推進計画の内容等、(仮称)那賀・海部・安芸風力発電事業について質疑がありました。そのほか、成年年齢の引き下げに伴う消費者教育への取り組み、不審電話撃退装置貸出事業などについて、質疑や提言がありました。

●次世代育成・少子高齢化対策特別委員会
新たな青少年センターに関し、現センターの利用状況、機能移転の概要、近隣施設の状況と連携等、保育所等入所待機児童に関し、今後の待機児童数の見込み、定員と申込者数の関係等について、質疑がありました。そのほか、とくしま高齢者いきいきプランの取り組み、低所得者の介護施設入所における対応、アクティブシニア地域活動支援センターなどについて、質疑や提言がありました。

問 高病原性鳥インフルエンザの発生リスクが本格的に高まる冬季を迎えるに当たり、

答 市町村では子育て世代包括支援センターの整備が進む。研修会の開催や市町村と医療機関等との連携を促進するなど、地域の支援体制を支える。

問 木質バイオマスボイラーや太陽熱ボイラー等の利用は、無理のないスマートな省エネになり、温室効果ガスを大きく削減できる。利用促進に向け、さらなる普及・啓発を。

答 様々な機会を通じた普及啓発や、補助・融資制度の活用を促進する。また、自然エネルギー協議会において、熱利用の積極的推進を国に提言する。

問 来年夏の阿波おどりの再始動に向け、県内各地におけるニューノーマルに対応した新しい阿波おどりの開催について、県として、どのような思いを持ち、取り組むのか。

答 踊り連の皆様をはじめ関係者のご尽力に感謝するとともに、感染予防対策の検証を十分に行い、阿波おどりの再始動につなげる。

問 県北部の中核病院として機能強化が求められる徳島県鳴門病院が第3期中期目標を

答 県内での発生防止や発生に備えた対策に、どのように取り組むのか。

問 耐震性貯水槽、ヘリポートや衛星電話など県内最高水準の施設整備を進め、復旧・復興活動の拠点とする。また、国が制度創設した「防災道の駅」の県内初認定を目指す。

答 全養鶏農家に緊急配布した消毒用消石灰に加え、殺鼠剤の配布を開始。また、実践しながらの防疫演習を実施し、初動対応に万全を期す。

問 「道の駅いたの」は、高速道路に近く内陸部に立地し、大規模災害時の避難場所等の活用が期待される。今後、どう地域に役立てるのか。

答 耐震性貯水槽、ヘリポートや衛星電話など県内最高水準の施設整備を進め、復旧・復興活動の拠点とする。また、国が制度創設した「防災道の駅」の県内初認定を目指す。

問 着実に達成し、より地域住民の期待に応えられるよう、県がさらなる支援を行うべき。

答 第4の県立病院との認識のもと、第3期中期目標で政策医療や災害対応力の強化に取り組みよう指示。必要な運営費の負担に積極的に対応する。

問 閉空と鳴門や沖洲を結ぶ実証運航の結果を踏まえ、大阪・関西万博に向けた新たな海上交通を今後、どうブラッシュアップしていくのか。

答 快適性の向上や周遊ルート工夫が必要との意見を踏まえ、関係団体とともに、庁内プロジェクトチームで検討を進め、魅力的な運航計画に磨き上げる。

問 新型コロナの感染拡大で医療機関の経営悪化は深刻。地域医療を支える全ての医療機関への実効性のある損失補填を国に求めるとともに、県でも独自支援に取り組むべき。

答 医療機関の経営安定化は重要であり、国に財政支援の拡充を提言している。また、医療従事者への危険手当について県独自の支援を行っている。

問 学校での新型コロナウイルス感染防止対策として、児童・生徒間の十分な距離が確保できる

答 施設整備や教師の確保等の課題もあり、まずは、新型コロナウイルス対応として、サポートスタッフや学習指導員の配置・活用等により、児童生徒の健康・安全や学びの保障を確保する。

問 多様な家族農家の営農意欲を引き出す農業政策が必要。国際連合が定め、2019年から始まっている「家族農業の10年」に沿って、家族農業への支援を強化するべき。

答 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

問 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

問 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

問 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

問 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

問 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

問 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

問 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

答 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

問 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

答 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

問 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

答 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

問 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

答 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

問 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

答 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

問 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

答 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

問 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

答 家族農業が主体の小規模農家に対し、個別経営指導や産地の生産拡大、共同利用施設の導入補助など、今後ともきめ細やかな支援に努める。

用語解説


- ※1【読書サポート人材】対面朗読の実施や点字図書、音声図書の製作、それぞれの障がいに応じたバリアフリー図書や支援機器を充実させる等により、視覚障がい者等の読書を支援し、その環境改善を図ることができる人材。
- ※2【深紫外】紫外線のうち、一般的に波長領域200~300nmのものを用い、ウイルスや菌を不活性化させる効果があるとされている。
*1nm(ナノメートル)=10億分の1m
- ※3【テラヘルツ波】電波と光の中間の周波数(波長)領域にある電磁波の一種。電波の高透過性と光の直進性を併せ持つため、非破壊検査・通信等の分野への応用が期待されている。
- ※4【6G】第6世代移動通信システムのこと。2020年3月に商用サービスが開始された5Gが有する超高速・大容量といった特長のさらなる高度化に加えて、自律性や拡張性等の新たな機能の実現に向けて研究が進められている。
- ※5【防災道の駅】災害時に広域的な復旧・復興活動拠点となる道の駅の中から、ハード・ソフト両面の対策を強化した駅を、国土交通大臣が「防災道の駅」として認定する。
- ※6【第4の県立病院】現在、県立病院は、中央・三好・海部の3病院がある。徳島県鳴門病院は、平成25年4月に県が地方独立行政法人として設立した。県とは別の法人格であるが、県の設置する「4番目」の病院として、県立病院と同様に重要な役割を果たしていくことが求められている。
- ※7【徳島県GIGAスクール構想】「GIGA」とは「Global and Innovation Gateway for All」の略。小中高一貫して児童生徒に1人1台端末を整備し、オンライン教育と対面教育とのベストミックスにより、平時、有事を問わず多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びの実現を図る構想。
- ※8【家族農業の10年】国際連合は、2017年の国連総会において、2019年~2028年を国連「家族農業の10年」として定め、加盟国及び関係機関等に対し、家族農業(労働力の過半を家族の労働力でまかなう農林水産業)に係る施策の推進・知見の共有等を求めている。
- ※9【デジタルトランスフォーメーション(DX)】デジタル技術の浸透により、既存の価値観や枠組みを変革していくこと。略称である「DX」は、Digitalの「D」と、Transformation(変化、変容)の接頭辞である「trans」が英語圏で「X」と省略されることに由来する。
- ※10【awaもくよんプロジェクト】県営住宅「新浜町団地」の建て替えにおいて、全国に先駆けて、木材でできた柱や梁に直に触れられる「あらかし木造4階建て」の県営住宅を実現するプロジェクト。

インターネットで議会中継が見られます

県議会のホームページでは、本会議の様を生中継及び録画配信(過去4年分)しています。パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でも見ることができますので、是非ご覧ください。

なお、代表・一般質問の前日に、質問項目と要旨(予定)をホームページに掲載しています。

徳島県議会 インターネット中継



本会議の議事録等について

本会議の議事録及び委員会記録は、県議会ホームページで閲覧することができます。

徳島県議会 会議録検索システム

徳島県議会 委員会記録




●「県議会だより」録音版・点字版について
「県議会だより」の録音版(カセット・CD)、点字版をご希望の方は、次のところへご連絡ください。

連絡先 障がい者交流プラザ 視聴覚障がい者支援センター
TEL: 088-631-1400

一般質問

ニューノーマルに対応した新しい阿波おどりの開催を

地域医療を支える全ての医療機関に実効性のある支援を

多様な家族農家の営農意欲を引き出す農業政策が必要

議会トピックス

- 立皇嗣の礼が行われるに当たり、賀詞を奉呈しました(11月8日)。
- 議員10名が、都道府県議会議員研究交流大会(オンライン開催)に参加し、基調講演の後、「国際交流・多文化共生」等の5つの分科会に分かれ、事例研究や意見交換を行いました(11月9日から11日まで)。
- 議決対象としている『「未知への挑戦」とくしま行動計画」に係る全議員勉強会を開催し、質疑・提言を行いました(12月18日)。

議員連盟の活動

- 防衛議員連盟が、海上自衛隊第24航空隊(小松島市)において、管制塔や航空機を視察するとともに、地域における防衛基盤の強化について講義を受けました(10月27日)。
- 四国公共交通議員連盟が、国土交通省に対し、公共交通の維持・活性化及び四国新幹線導入に関する要望を行いました(11月9日)。
- 四国横断自動車道・阿南芸芸自動車道建設促進議員連盟及び徳島自動車道整備促進議員連盟が、徳島県等と合同で、国土交通大臣等に対し、四国横断自動車道及び阿南芸芸自動車道の早期整備や徳島自動車道の早期四車線化に向けた要望を行いました(11月20日)。
- 教育を考える議員連盟が、教員の働き方改革についての勉強会を開催しました(11月30日)。

県議会の流れ

～予算や条例が決まるまで～

県議会の定例会は、通常2月、6月、9月および12月の年4回開かれ、県政の方針や予算などの事項を審議します。また、臨時会は、必要がある場合に開かれます。それでは、県議会において、県民生活にとって重要な予算や条例などが決まるまでの流れを見てみましょう。

本会議



全議員で行う会議を「本会議」といいます。本会議を開くためには議員定数(現在38人)の半数以上の出席が必要です。

開 会

議長が宣告します。

議案提出

予算案や条例案など議決を経る必要がある議案が提出されます。

提出者説明

議案の提出者(知事又は議員)が提案理由を説明します。

質問・質疑

議員が県政全般についての質問や議案についての質疑を行い、知事や部長などが答弁します。

委員会付託

議案などをさらに詳しく審査するため、委員会に付託します。

委員会



複雑かつ専門的な県の仕事を詳細に審査するため、複数の委員会を設置しています。

付託議案審査

説明聴取
質 疑
採 決

本会議で付託された議案や重要な案件について、関係する部局から説明を聴き、質疑を行うなどして専門的に詳しく審査し、委員会として賛成か反対かの意思を決定します。

本会議



議会に提出されたすべての議案などに対する、議会としての最終的な意思決定を行います。

委員長報告

すべての委員会の審査が終わると、再び本会議を開き、委員会の審査結果を報告します。

委員長報告に対する質疑

討 論

議案について賛成か反対かの意見を述べます。

採 決

議案についての賛否を出席議員により決定し、議決します。

閉 会

すべての議案等の採決が終わると、閉会となります。

知事は議会で決定した予算や条例などに基づき、仕事を進めます。



県議会の見学者等

- 徳島コミュニケーションチーム
- 三好市立芝生小学校
- 阿南市立椿町中学校
- 鳴門教育大学教職大学院
- 松島学童保育まっっこクラブ

申込方法等は
こちら▶



議会日程

令和3年2月定例会

※日程は予定であり、変更する場合があります。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「本会議の傍聴」及び「委員会の視聴」は自粛をお願いいたします。

2月5日	……………	常任委員会
2月8,9日	……………	特別委員会
2月10日	……………	本会議(開会)
2月17日	……………	本会議(代表質問)
2月18,19日	……………	本会議(一般質問)
2月24~26日・3月1日	……………	常任委員会
3月2,3日	……………	特別委員会
3月10日	……………	本会議(閉会)

●この広報紙は、新聞折り込みによりお届けしています。また、市役所、町村役場、総合県民局、県合同庁舎、県庁ふれあいセンター及び県議会事務局でもお渡ししています。

議会クイズ



正解者の中から抽選で10名様に、「阿波ういろ」と「阿波番茶」をセットにして、プレゼントいたします。



Q. 徳島県議会の定例会は年に何回開かれるでしょうか。

- ①3回
- ②4回
- ③5回

ヒントは
紙面上に
あります

- 応募方法: はがき、電子メール又はファクシミリでクイズの答え、住所、氏名、電話番号、「とくしま県議会だより」についての感想を記入の上、次の宛先までお送りください。
※ご応募は、お一人につき1通までとさせていただきます。
- 応募先: 〒770-8570(住所記入不要)
徳島県議会事務局 政策調査課
メールアドレス: gikaijimukyoku@pref.tokushima.jp
ファクシミリ: 088-655-2530
- 締切: 令和3年3月15日(月)(当日消印有効)
(当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。)

※お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します。

10名様に
プレゼント!

もっちりした食感が特長の徳島の伝統的な蒸菓子「阿波ういろ」と、本場相生(那賀町)の良質な茶葉を後発酵させた「阿波番茶」をお楽しみください!



【提供】公益社団法人 徳島県産物協会「あるでよ徳島」